



# 江府町報

## 7月号

発行者  
鳥取県江府町  
電話 江尾(代) 2211  
編集 総務課  
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口  
(6月30日現在)

世帯数	1,342世帯
人口	5,101人
	(前月比 4人増)
(男)	2,479
(女)	2,622
出生	5
(男)	3
(女)	2
転入	10
(男)	8
(女)	2
転出	7
(男)	2
(女)	5
死亡	4
(男)	3
(女)	1

第163号

### 水しぶきあげて初泳ぎ

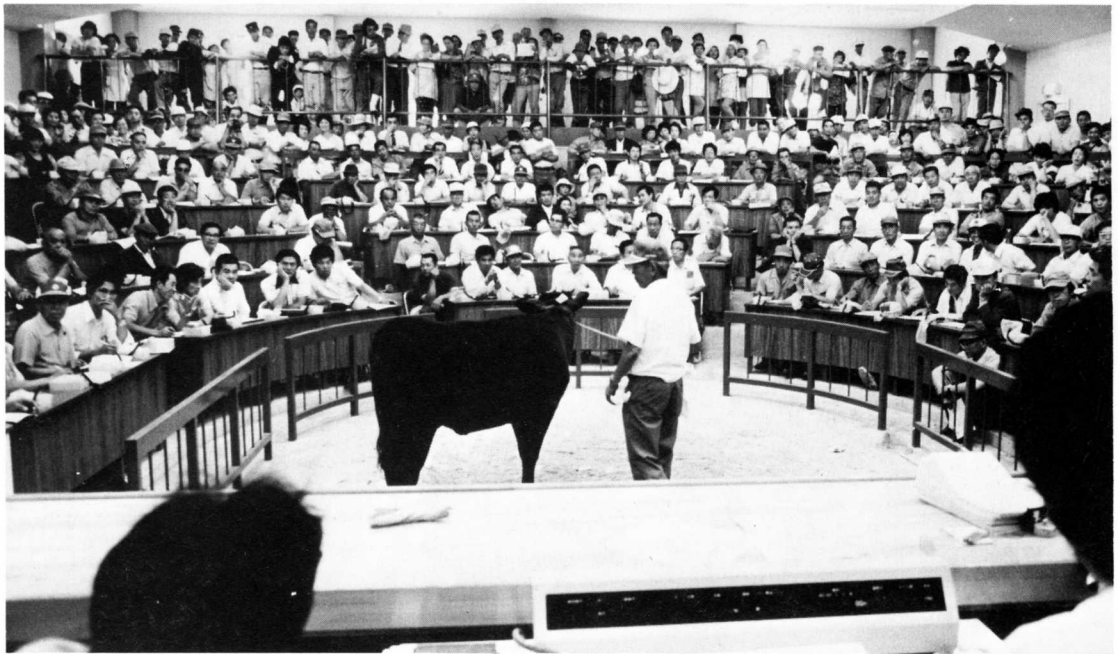
水泳シーズンを前に七月五日、子供の国保育園でプール開きが行われた。

この日は、プール開きを祝福するかのような真夏を思わせる焼きつく暑さ。気温も三十度とウナギのぼりとなり絶好のプール開き日。小さなカッパたちは、この日がかかるのを待ちかねたかのようにしやぎ、泳ぎまわる。みんなの顔と顔がほころぶ。いかにもうれしそうだ。

園児たちは、これから八月まで元氣いっぱい水泳を楽しみます。

▲初泳ぎをする園児たち

▶西部家畜市場で初せり市



# めす最高 80万円

## 岸本町で初せり市

岸本町久古にオープンしました「西部広域家畜市場」で初の七月期せり市が行われました。

西部広域家畜市場は、畜産物の流通機能を高めるため県経済農協が米子市吉岡、溝口町溝口、江府町江尾、日野町根雨、日南町生山の五か所に分散している家畜市場を統合、一本化したものです。

施設は、敷地面積五畝に鉄筋コンクリート平屋一部二階建て、延べ面積四二六平方メートルのせり場、豚八百頭所容の豚舎、牛つなぎ場、たい肥舎、展示場、隔離牛舎などのほか二七〇台を取容で

きる駐車場も整備されています。また、県内唯一のコンピュータ制御の自動せり機も備えています。

本町からは距離が少し遠くなくなったという不便さはありますが、買い手市場が拡大されたほか、今までのようにせり市後に連れて帰らなくてもその場で引き渡すことができるようになりました。

また、本町のせり市は七月二日に開かれ、めす六十六頭、おす二頭、去勢牛六十三頭、計百三十一頭が出場しました。本町の成績は次表のとおりです。

	めす	おす	去勢牛
出頭	頭 66	頭 2	頭 63
最高	千円 763	千円 190	千円 323
最低	千円 112	千円 140	千円 141
平均	円 283,060	円 165,000	円 239,809
平均体重	kg 235	kg 196	kg 240
1kg当り単価	円 1,205	円 843	円 998

# 町長日誌

\* 6 月

- 1日(火) 三町衛生施設組合議会
- 2日(水) 庁内会 御机部落行政座談会
- 3日(木) 保健委員会
- 4日(金) 県町村会総会
- 5日(土) 在勤
- 6日(日) 議会行政視察
- 12日(土) 全国発電施設所在町村会議、全国過疎振興連盟役員会
- 14日(月) 在勤
- 16日(水) (東京) 郡身体障害者スポーツ大会、助沢役員来庁
- 17日(木) 郡身体障害者スポーツ大会、助沢役員来庁
- 18日(金) 郡農業共済会議
- 19日(土) 定例町議会、食生活改善講座開講式
- 20日(日) 町民総合運動場オープン記念式及び町職域野球大会
- 21日(月) 定例町議会(第二日目)
- 22日(火) 日ノ詰役員来庁
- 23日(水) 日野郡農業振興協議会
- 24日(木) 中電鳥取支店長、杉谷役員来庁、町清掃組合会議
- 25日(金) 溝口町体育館落成式
- 26日(土) 俳句教室
- 27日(日) 青年学級講演
- 28日(月) 消防ポンプ操法検閲
- 29日(火) 米沢財産区会
- 30日(水) 県、市町村長行政懇談会

# 一般会計

## 一億九百万円を補正

### 6月定例町議会

六月定例町議会は、六月十九、二十一日の二日間開かれ、町長提出の全議案を原案とおりに可決しました。議決された事項では、次のとおりです。

#### 職員給与に関する条例の一部改正

行革特例法により、児童手当の支給について、一定の所得額未満の者には、昭和六十年五月まで、経過措置として、特例給付を行い、又、条文中の不快用語を改めるための一部改正であります。

#### 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

「公民館の設置に関する条例」に基づき、専任公民館長の報酬及び費用弁償の支給について改正するもの

#### 国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴って、

並びに廃止について

新農業構造改善事業として吉原地区の区画整理事業に伴う換地業務により、字の区域及び名称の変更、又は廃止を定めたものであります。

#### 一般会計補正予算

既定の予算額に、一億九百三十九万九千円を補正し、予算総額を二十六億六千六百六万六千円とした。

歳出補正の内容は、集落経営基金負担金、町民運動場照明施設新設事業費が主なもので、その他急を要する事業の補正であります。

この歳入として、国庫支出金、基金繰入金、町債等の財源を以って措置いたしました。

#### 特別会計予算

##### 簡易水道

四千五百二十万六千円

##### 簡易水道事業特別会計補正予算

既定の予算額に四十五万九千円を補正し、予算総額四千五百十九万二千円といたしました。

補正の内容は、管理費を増額し繰入金を以って補正措置をいたしました。

町、字の区域及び名称の変更

## 夏の犯罪と

### 事故をなくそう



相手にならないようにする。暴力団に誘われても、諸博やノミ行為、覚せい剤などには絶対手を出さない。

他人が暴力の被害にあっているところを見たり、聞いたりしたときは、近くをパトロール中の警察官に連絡をするか、一一〇番をする。

#### 子供を非行から守るために

夏祭りや海水浴、キャンプなど、楽しいシーズンがやってきました。しかし、一方で行楽地などでの暴力犯罪、解放感からの少年非行など、夏はいろいろな犯罪や事故が増える季節です。暴力犯罪の被害を防ぐために、また子供を非行から守るために、次のような点に十分注意しましょう。

#### 暴力犯罪の被害にあわないために

・暴力的な迷惑行為をしようとする者には、スキを見せたり、

・親子の会話がある家庭からは、非行は生まれにくいものです。家庭が楽しいところであるように、家族そろってだんらんする機会をなるべく多くつくる。

・事のよし悪し、欲望を抑える自制心、人に迷惑をかけない生活や行動など、基本的に身につけなければならないし、「しつけ教育」を心がける。

わ  
だ  
い



▶バケットから約二トンのコンクリートを流し込む

### 発電所の建設着々

#### ダム地点で定礎式

七月九日、俣野川発電所、俣野川ダム地点で関係者約百二十人が列席して定礎式が行われました。

これにより本格的にダム築造工事が進められます。

### 西部ポンプ操法大会

#### 第2分団が優勝

西部消防ポンプ操法大会が七月四日淀江小学校で行われ、町消防団第一分団、第二分団二チームの計三千

チームが自動車ポンプの部に出場しました。

競技は、消火準備や体制についてその速さ、正確さ、節度を採点します。

この日の成績は、日ごろの訓練の成果を発揮し、第二分団Bチームが優勝、Cチームが準優勝を飾りました。

国民年金

### 証書と申立書を役場へ

8月は、福祉年金を受けておられる方が「国民年金証書」と、「所得などの申立書」を役場へ提出する月です。

福祉年金は、受給者やその配偶者、扶養義務者などに一定額以上の所得があったり、受給者が恩給や厚生年金など他の制度から年金を受けていたりすると、福祉年金の一部又は全部が停止されることがあります。そこで、このような状況を確認し、今年8月から来年7月までの1年間の福祉年金が受けられるかどうかを決定するために、毎年1回提出していただくものです。

したがって、もし、この手続が遅れますと、12月の支払日に年金が受け取れないこととなりますので、8月に福祉年金を受け取ったら、提出してください。

なお、「所得などの申立書」は、国民年金証書の表紙裏面にはってあります。

詳しいことは、町役場年金係にご相談ください。

## やめよう不法投棄

### 美しい郷土を守るために

すでにチラシでお知らせしましたが、最近取締当局から、町内のあるところの「ゴミ」の不法投棄の指適をうけています。

ゴミ処理の根拠法令「廃棄物及び清掃に関する法律」による

と、河川や道路など公共の場を汚さないようにすることはもち

ろん、自分の管理する土地や建

物の清潔保持も義務づけております。

わずかなゴミだから、人が捨てているのだからといって、軽い気持ちで捨てられたものが積み重なって汚染が進んでいきます。

町では、町をきれいにするためにゴミの始末を、川や谷間へ投げ捨てないよう呼びかけてい



# 交通指導員

## 14人を任命

今後二年間、町内の交通安全の指導に献身する町交通指導員の任命式が七月十九日行われ、十四人に井上町長から辞令書が手渡されました。また、式では指導員を代表して小笠原定義さんが「交通事故の防止のために交通安全の意識高揚と安全指導の実践に懸命の努力をすることを誓います」と決意新たに宣誓されました。

新らしく任命された指導員は次のとおりです。

小笠原定義・遠藤量之・芦立喜明・河上順喜・入江恭子(江尾) 浦部肇(洲河崎) 藤原嘉久(池の内) 石原忠哉(新道) 森文雄(宮市) 沢口勉(助沢) 河上収(宮市) 安田公正(大原) 亀田幸満(大原) 遠藤功(員田)



▶指導員を代表して宣誓をする小笠原さん

# 保健行事

## 乳幼児相談

日 時 8月18日(水)  
午前9時～11時  
午後1時～3時受付  
場 所 老人の家  
対象児 昭和56年8月～昭和57年6月出生児

## 1歳6か月児健康診査

日 時 8月19日(木)  
午後12時30分～13時受付  
場 所 日輪閣  
対象児 昭和55年12月～昭和56年2月出生児12名

## フッ素塗布

日 時 8月25日(水)  
午前9時30分～10時30分  
受付  
場 所 日輪閣  
対象児 昭和54年12月～55年5月  
出生児25名

## 胃がん検診

日 時 8月24日(火)  
午前6時～7時受付  
場 所 村上商店横広場(本町5丁目)



▶きれいな流れになった船合川

ますが、環境汚染を防止するためには、みなさんの「美しい自然を守る意識」が大切です。ぜひ次のことに心掛けて下さい。

- ・家庭や工場から出るゴミは、散乱しないよう始末して、必ずきめられた場所に処置しましょう。
- ・ゴミやジュースなど飲物の空き缶は、きめられた場所に入れるか、持ち帰って始末しましょう。

・次のことを見かけたら、警察にその場所や車のナンバーを

どをすぐ知らせて下さい。

○多量のゴミや廃棄物が捨ててあったり、トラックなどが捨ててあるのを見かけたとき。

○油類で河川が汚れていたり、魚が多量に死んで流れているのを見かけたとき。

## ゴミの再利用で

### “一石三鳥”

ゴミといえば、汚いもの、臭いもの——などというイメージがすぐ浮かびますが、全部が全部そうではありません。ゴミの中身を分析してみますと——。

一般家庭から出るゴミの約半分は台所などの生ゴミですが、残りの半分は、資源として再利用できる新聞紙や古雑誌などの紙類、空きかん類、びん類などです。

“ゴミの再利用”は、資源の有効活用になるほか、ゴミの量が減って清掃・処理費用が少なくて済み、同時に環境の美化につながるという“一石三鳥”の効果あげることが出来ます。ゴミは選別して、それぞれの回収ルートにのせるようにしましょう。



# まちの伝説

## ハンザケ退治

洲河崎村 上ノ山に一字の堂がある。その昔半口藤右衛門尉繁吉という城主がいて、六三石を領し勇名な智将でありました。当時アミケ淵に、巨大なハンザケが住んでいましたが、夜昼となく人畜に危害を加え、村人達は困り果てていました。

これを聞いた城主は、「そのハンザケを自ら退治してやる」と村人に大きな箱を造らせ、その中に潜入して淵の上流から流させました。

その箱を見たハンザケは、一呑みにせんものと襲いかかったとき、城主は箱の中から刀を突き出し一気に刺し殺してしまいました。

よろこんだ村人達は、その徳をたたえて半の堂を建て、木像をまつりました。

## 御机の地名と正月餅

後醍醐天皇が足利氏の難を逃れてこの地方をお通りになったとき、御机の村でお休みになることになりました。

しかし、地方では天皇のご褒

所に充てる場所が無いので、机を三つ継ぎ合わせて仮座にお休みいただいたところ「三机」のちに御机」の地名が生まれました。

また同じとき、天皇のお食事に餅を差し上げようとしたが「モチ米」が無いので、米の粉団子を奉りました。

この故事を今日に伝えて、貧しかった昔を振り返り、正月三日が日は村じゅうが餅の代りに団子をつくって祝い、三日が過ぎてから初めて餅つきをする、ゆかしい物語りと行事が残されています。

## 笠原の大蛇

今の畠のある辺の上に小さな沼がありました。水が青々として、深さがいくらあるかはかり知ることができない。しかし村の若者達は昼休みなどには、よく水泳をしていました。そしてこの沼には大蛇が住んでいて、ある時、沼の上に霧が一面にたちこめたと思う間に、大蛇はその霧りに乗って、大山の赤松の池の方へ立ち去ったという。今もなおその沼の跡は湿原になり、短い草が一面に生えて昔の面影を残しています。

(江府町史から)

# 人の動き

(6月届)

### お誕生おめでとう

- 貝田 森田 桂子 哲也 長女
- 本五 澤田美和子 大蔵 長女
- 洲河崎 影山 陽平 正波 二男
- 下蚊屋 川上 直弥 岩男 二男
- 新一 末次三智生 泰之 三男

### ごめい福を祈ります

- 柿原 白川益治 88歳 彰宅
- 洲河崎 影山萬江 67歳 正昭宅
- 杉谷 加藤 明 75歳 恭典宅
- 貝田 森田義明 93歳 良一宅

### ご結婚を祝します

- 長尾 隆司 小江尾
- 高橋 美恵 島根県大原郡から
- 伊勢 義彦 宮城県石巻市
- 小峯 春美 大河原から
- 池上 昌一 兵庫県津名郡
- 関内 一江 江尾から
- 川野 裕一 大阪市東住吉区
- 森田 律子 貝田から
- 末次 弘道 貝田
- 棚原 春美 沖縄県宜野湾市から

### ありがとうございます

### うございました

- 新見 道弘 吉原
- 岡田 洋子 岩手県下閉伊郡から
- 佐伯 勉 日南町神戸上
- 加藤 孝子 江尾から
- 宇田川洋二 武庫
- 今風 智子 福井県小浜市から

(六月中寄託分)

### 香典返しとして

- 大河原 井上八重子殿 (夫重信様ご逝去)
- 柿原 白川 彰殿 (祖父益治様ご逝去)
- 洲河崎 影山 一殿 (妻萬江様ご逝去)

### 内祝として

- 池の内 南波秀樹殿(ご本人様退院)
- 池の内 藤原雅和殿(ご本人様退院)
- 御机 小倉繁雄殿(ご本人様退院)
- 小江尾 長尾顕次殿(ご本人様退院)
- 御机 山崎なみ江殿(ご本人様退院)
- 宮市 長岡輝雄殿(ご本人様退院)
- 大河原 亀田栄重殿(ご本人様退院)
- 本二 山本重男殿(長男剛志様退院)
- 本一 勝部敏之殿(ご本人様退院)
- 吉原 新見まつ殿(ご本人様退院)
- 本一 田口洋介殿(長男明洋様退院)
- 大河原 安田一雄殿(ご本人様退院)
- 宮市 原田節美殿(ご本人様退院)

- 助 沢 加藤義弘殿(ご本人様退院)
- 小江尾 篠田英親殿(ご本人様退院)
- 下蚊屋 小椋 清殿(ご本人様退院)
- 貝田 岡田式美殿(ご本人様退院)
- 大河原 小峰菊枝殿(ご本人様退院)
- 本一 上原裕臣殿(ご本人様退院)
- 日の詰 中尾泰子殿(ご本人様退院)
- 本五 川端しを殿(ご本人様退院)
- 貝田 六浦三代子殿(ご本人様退院)

- 特別寄付
- 小江尾老人クラブ
- 雑布 50枚
- 小江尾老人クラブ製作品

以上、社会福祉事業にご寄付いただきました。厚く御礼申し上げます。江府町社会福祉協議会

### 善意銀行受払報告

1. 五月末累計額 八十七万二千百三十三円
2. 六月中寄付額 二十四万七千円
- 内 訳
  - 快気祝 二十一万七千円
  - 香典返し 三万円
  - 3. 支出額
  - 負担金 三万六千三百円
  - 4. 六月末累計額 百八万二千八百三十三円